

推進研究プロジェクト名： 県北発・農からの地域活力向上モデルの提案		
代表者名： 福与徳文	所属： 農学部	職名： 教授
キーワード： 過疎・高齢化、地域住民、内発性、地域資源、ブランド化、耕作放棄地、地域活性化		
<p>研究組織 (研究体制の全体像が分かるように記入し、必要に応じて図表を掲載して下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福与徳文 (農学部・教授, 地域計画学) : 全体統括, 地域資源の発掘や合意形成の実践手法 ・立川雅司 (農学部・教授, フードシステム学) : 農業の多角化やブランド化による経営力強化策の提案 ・西川邦夫 (農学部・准教授, 農政学) : 経営体の掘り起こしおよび人材育成に向けた政策論 ・牧山正男 (農学部・准教授, 農地環境工学) : 耕作放棄地の再活用に向けた農地基盤条件の体系化 ・連携自治体：常陸太田市教育委員会文化課エコミュージアム推進室 太子町まちづくり課 		
研究組織のホームページ：		
<p>研究目的 (①背景・社会的重要性・緊急性等 ②学術的な特徴独創的な点 ③予想される結果と意義を記入して下さい。)</p> <p>過疎・高齢化の進行によって消滅すら懸念されている茨城県北部（以下、県北）の中山間地域の市町村を対象に、自治体と連携して地域の農業資源を掘り起こし、新しい経営体の育成やブランド力の強化、耕作放棄地の再生などの活動を通じて地域農業の再構築を図り、それによって地域全体の活力向上をはかるための方策を明らかにする。</p> <p>本研究は、県北中山間地域の住民にワークショップなどの手法を用いて働きかけ、地域住民と一緒に地域活性化を考えていくという運動論的手法を採っている点が独創的である。</p> <p>県北中山間地域において地域資源を活用した地域再生策を提案し、それを実践することは、人口減少が始まったわが国の今後を占うほどに貴重かつ重要な情報をもたらすと考える。</p>		
<p>研究内容 (研究内容を簡潔に記入して下さい。)</p> <p>県北中山間地域の活性化のためには、①耕作放棄地などの課題を「自分たち自身で解決する」という地域住民の内発的努力をどうやって引き出すのか、②地域活性化につながるような地域の農業資源をどのような方法で掘り起こすのか、③掘り起こした農業資源を地域活性化につなげる仕組みをどのように構築するのか、といったハードルを乗り越えなければならない。</p> <p>こうしたハードルを乗り越えていくために、本プロジェクトでは、集落環境点検（お宝マップづくり）など、地域づくりのためのワークショップを地域住民対象に実施し、地域住民と一緒に課題解決の方法を考えるとといった実践的活動を通して、県北中山間地域の活性化方策を明らかにする。</p>		
<p>研究内容概要図</p> <div style="text-align: center;"> <p>県北発・農からの地域活力向上モデルの提案</p> <p>地域資源の発掘 → 地域再生計画の作成 → 地域特産品による耕作放棄地の再生</p> <p>住民自身による地域再生</p> <p>自治体 ← 連携 → 茨城大学</p> <p>財政的支援 仕組づくり 支援 地域の内発性を引き出す</p> </div>		